

テーマ

わがまち発見「探検!発見!!みほのせき」  
～いにしへの歴史からジオパークまで～

事業実施地区（中学校区名）	松江市立美保関中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	松江市美保関公民館

テーマの背景

少子高齢化や若者流失による人口減少問題、小地域自治組織の持続問題など、様々な地域課題を抱きながら生活している現状の中、2017年12月22日「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」に認定された。この認定を機に、地域住民(子どもから大人)が、自然や歴史の宝庫である美保関町について学習と散策をするなど、地元にある名所や遺跡、誇れる文化財に触れ、認識を深めるための機会を計画した。これらの背景の中、事業実施にあたり住民一人ひとりが素晴らしい地域に暮らしている実感に活力を見出し、わがまちのお宝の保護・継承とともに地域の活性化につなげることとした。

実際の取組

④ふるさとの魅力や価値に築き、理解を深める学びの場を設定

事業名： 「探検!発見!!みほのせき わがまち発見」(子ども対象)  
「美保関歴史学習・美保関めぐり」(大人対象)  
「海からながめる美保関」(子ども・大人対象)

<取組の概要>

美保関の歴史や遺跡・文化財などについて、現地へ出かけて専門家の話を聞きながら学習し、認識を深めた。また、普段見ることが出来ない海から見る海岸線や景勝地などを船上から眺め、景観保全や資源の活用を考える機会とした。



探検!発見!! みほのせき



美保関歴史学習 美保関めぐり



海からながめる美保関

<成果と課題>

成果 ○美保関町の歴史や遺跡などを認識し、地域の素晴らしさに気づく、ふるさとへの愛着心を育む体験活動ができた。

○感動(地域の良さ・大切さ)を共有し、つながりを実感できた。

課題 ○地域の”ひと“を活かした人材育成。(解説者養成)

### ⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次代に伝え、守っていく活動

事業名：「みほのせきお宝かるたをつくろう」お宝かるた標語(読み札)募集

#### <取組の概要>

美保関地域の名所や旧跡、歴史、文化遺産など、大切な財産である”お宝”をカードに残し、みんなで楽しく地域を知ることが出来る、次世代につなげる愛着のあるかるた制作のための標語(読み札)を募集。チラシは小中学校・全戸配布とした。

☆作品は次年度、絵札にあわせ「みほのせきお宝かるた」として完成予定。絵札は小中学校へ協力依頼。

美保関地区ふるさと教育推進事業「みほのせきお宝かるた」制作委員会

大西 敏哉

流鏑馬で  
三本の矢を射て  
豊作祈願



家族と一緒に考えましょう！

### みほのせきお宝かるたをつくろう

ふるさと美保関には素晴らしい自然、名所や旧跡、そして歴史や文化遺産などたくさんあるものがあります。自分たちが住んでいる地域や大切なものを再認識し、カードに残してみませんか。お宝かるたは美保関の大切な財産”お宝”をカードに残し、みんなで楽しく地域を知ることが出来る、次世代につなげる愛着のあるかるた制作したいと思いませんか。ふるさと美保関に「みほのせきお宝かるた」の標語(読み札)を募集します。皆さんはふるさとに愛着を感じ、誇りを持って、是非応募してください。

#### 標語(読み札)募集

**テーマ**  
住んでいる地域や歴史・文化遺産、名所など、誇れるものやみんなに知ってほしい、大切にしたいものについて

**募集期間**  
平成30年12月20日(木)から  
平成31年1月18日(金)まで

**応募方法**  
全戸配布をしたチラシ及び公民館・美保関支所に備え付けの応募用紙で公民館まで届けてください。  
※小・中学生については、学校へ届出が可能です。

**募集内容**  
募集金額を調整し、適正なる募集を行います。公民館より発行いたします。  
作品は次年度、絵札とあわせて「みほのせきお宝かるた」として完成予定としています。

**応募対象**  
1人最多で3点まで

**制作**  
作品はオリジナル、未発表のもので、第三者の著作権等の侵害とならないようにお願いします。

※募集が応募用紙となります。

募集係：岡合 幸・渡部 光  
松江美保関公民館 TEL: 72-3624 FAX: 72-3321 E-mail: w@miho-shi.jp  
(〒690-1313 松江市美保関町下新築 556-1)

#### <成果と課題>

- 成果
1. 地域を再確認する機会となった。
  2. 自分たちの住む地域に関心をもつことが出来た。
  3. 少人数だが積極的に読み札募集に関わる中学生がいた。
  4. 家族で一緒に考える機会をつくることが出来た。
- 課題
1. チラシを全戸配布したが、作品数が少なかった。
  2. 小学生には日常の生活が当たり前で、地域の良さや素晴らしさには関心が無かったり、知らない部分があったりし、標語を作ることは難しかった。
  3. 大人も関心が希薄で、知らせること(伝承)が不足している。

### まとめ

#### テーマに迫るためのポイント

ふるさと教育推進事業の採択を受け、改めて地域に目を向けた事業実施となった。自分たち暮らす地域の素晴らしさを地域住民に(子どもから大人まで)に認識してほしいという思いから、歴史から現在に至る美保関地域の大切なものを見聞してもらおう計画とした。特に、子どもたちには、現地での説明で分かりやすい内容のものと大人と別仕立てで地域の遺跡や文化財などをめぐる学習を実施した。「海からながめる美保関」は、普段見ることが出来ない景色を子どもたちと一緒に見る体験学習とした。

本事業のまとめとして、「美保関お宝かるた」の標語(読み札)募集を行った。家族で一緒に美保関の大切な資源の保全や活用を考えることで、郷土に愛着を生むきっかけとした。

#### 今後の展望

かるた標語募集の作品数が思いのほか少なく、再募集を行った。地域のことを知らない、無関心などの課題に取り組むため、次年度の「美保関お宝かるた」の完成に向け、諸団体と連携を図りながら積極的に取り組みたい。「美保関お宝かるた」の完成に伴い、地域での活用について考える必要がある。子どもたちに知らせる認知活動や、高齢者や異世代との交流活動の機会をつくり、ふるさとに住む人たちが元気になり、つながりを大切にし、地域の課題にも向き合いながら地域活性化を図る一助となればと思う。